

## 東播臨海広域行政協議会広域ごみ処理施設運営方式検討委員会の開催状況と会議結果

本委員会の開催状況と会議結果は以下のとおりである。

開催日	内容	主な会議の結果について
平成 26 年 7 月 4 日 (金)	第1回委員会 (1) 挨拶 (2) 検討委員会設置要綱の確認 (3) 委員紹介 (4) 委員長・副委員長の選出 (5) 検討委員会の公開について (6) 議事 議題 1 事業概要の確認について 議題 2 運営方式毎の特徴について 議題 3 検討項目とスケジュールについて (7) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 1 回委員会は公開とした。</li> <li>・ 委員長・副委員長を選出した。 委員長：高砂市生活環境部長 中村委員 副委員長：加古川市環境部長 高砂委員</li> <li>・ 事業概要として施設整備基本計画の概要を確認した。</li> <li>・ 運営方式毎の一般的な特徴を確認した。</li> <li>・ 本委員会の検討項目とスケジュールを確認し、了承した。</li> </ul>
平成 26 年 8 月 14 日 (木)	第2回委員会 (1) 開会 (2) 前回議事録の確認 (3) 議事 議題 1 比較評価する運営方式の絞り込みについて 議題 2 事業範囲・スキームの検討 (4) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 2 回委員会は公開とした。</li> <li>・ 可燃ごみ処理施設と不燃・粗大ごみ処理施設は設計・建設段階、運営段階とも一括発注することを選定した。</li> <li>・ 比較評価する運営方式は、「公設公営方式 運転委託」「公設民営方式 DBO 方式」「PFI 方式 BTO 方式」「PFI 方式 BOT 方式」の 4 方式とした。</li> <li>・ 運営委託期間は 20 年間と設定し、市場調査を実施することとした。</li> <li>・ 役割分担及びリスク分担は、事務局（案）で市場調査を実施することとした。</li> <li>・ 事業スキームは、SPC（特別目的会社）を設立し、対価の支払いは可能な限り平準化することとし、市場調査を実施することとした。</li> </ul>
平成 26 年 9 月 29 日 (月)	第3回委員会 (1) 開会 (2) 前回議事録の確認 (3) 議事 議題 1 比較評価方法の検討 議題 2 市場調査内容の検討 (4) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 3 回委員会は公開とした。</li> <li>・ 評価項目は、事務局（案）を了承した。</li> <li>・ 定性的評価を行う上での評価基準は、市場調査結果をふまえ、必要に応じて内容を補足し、とりまとめて提示することを確認した。</li> <li>・ 定性的評価は 5 段階とし、評価の決定方法は、各委員が事前に仮採点した上での合議方式とした。</li> <li>・ 評価項目の配点は、評価方法とあわせて、事務局で修正案を作成し、次回委員会までに確認することとした。</li> <li>・ 市場調査は、参入を希望する運営方式について、参入意思の優先順位を確認できるように修正した上で、事務局案の内容で実施することを了承した。</li> </ul>

開催日	内容	主な会議の結果について
平成26年11月27日(木)	第4回委員会 (1) 開会 (2) 前回議事録の確認 (3) 確認事項 確認1 比較評価方法の再整理について (4) 議事 議題1 定性的評価の検討について 議題2 運営方式の比較評価について (5) 確認事項 確認2 市場調査の設定条件に関するメーカー意見 確認3 発注方法・工程の検討及び課題の整理について (6) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第4回委員会は市場調査結果を確認する。回答社のノウハウ保護のため非公開とした。</li> <li>・ 比較評価方法の再整理について確認し、了承した。</li> <li>・ 定性的評価は、評価項目毎に運営方式毎の一般的事項と市場調査結果を確認し、合議式で決定した。</li> <li>・ 運営方式毎の事業費の算出結果（VFMの算出結果）について確認した。</li> <li>・ 定量的評価は、市場調査結果を確認し、事前に設定した評価点算定式により算定した結果を確認した。</li> <li>・ 最終的な総合評価結果を確認し、本事業で採用に相応しい運営方式として公設民営方式（DBO方式）を選定した。</li> <li>・ 感応度分析は、将来的に要求水準書を作成する際の参考資料になることを確認した。</li> <li>・ 市場調査を実施する上で設定した条件に関して、市場調査で回答社より出された意見について確認した。この内容も将来的に要求水準書を作成する際の参考資料になることを確認した。</li> <li>・ 事業化を進める上での発注方法・工程の検討及び課題の整理について確認した。この内容は、次回委員会で確認する報告書の中で整理されることを確認した。</li> </ul>
平成27年1月14日(火)	第5回委員会 (1) 開会 (2) 前回議事録の確認 (3) 議事 議題1 報告書（案）について (4) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第5回委員会は公開とした。</li> <li>・ 報告書（案）の内容及び構成について確認し了承した。</li> </ul>